

2025/07/11 (予定) 機能追加

仕訳伝票を複写した際に、複写元と異なる日付で複写したい 他 2 件

Ver.250630

取引入力

仕訳伝票を複写した際に、複写元の仕訳伝票と異なる日付で複写したい

仕訳伝票を複写すると、今までは、複写元の仕訳伝票の伝票日付が初期表示されていましたが、最終伝票日付やシステム日付も初期表示できるようになりました。

各メニューで [F3: 設定] を押して、[設定] 画面の [運用] ページの伝票初期日付で「複写時にも反映する」にチェックを付けると、最終伝票日付やシステム日付が初期表示され、そのまま起票できます。

対応メニュー

仕訳伝票を起票するすべてのメニュー

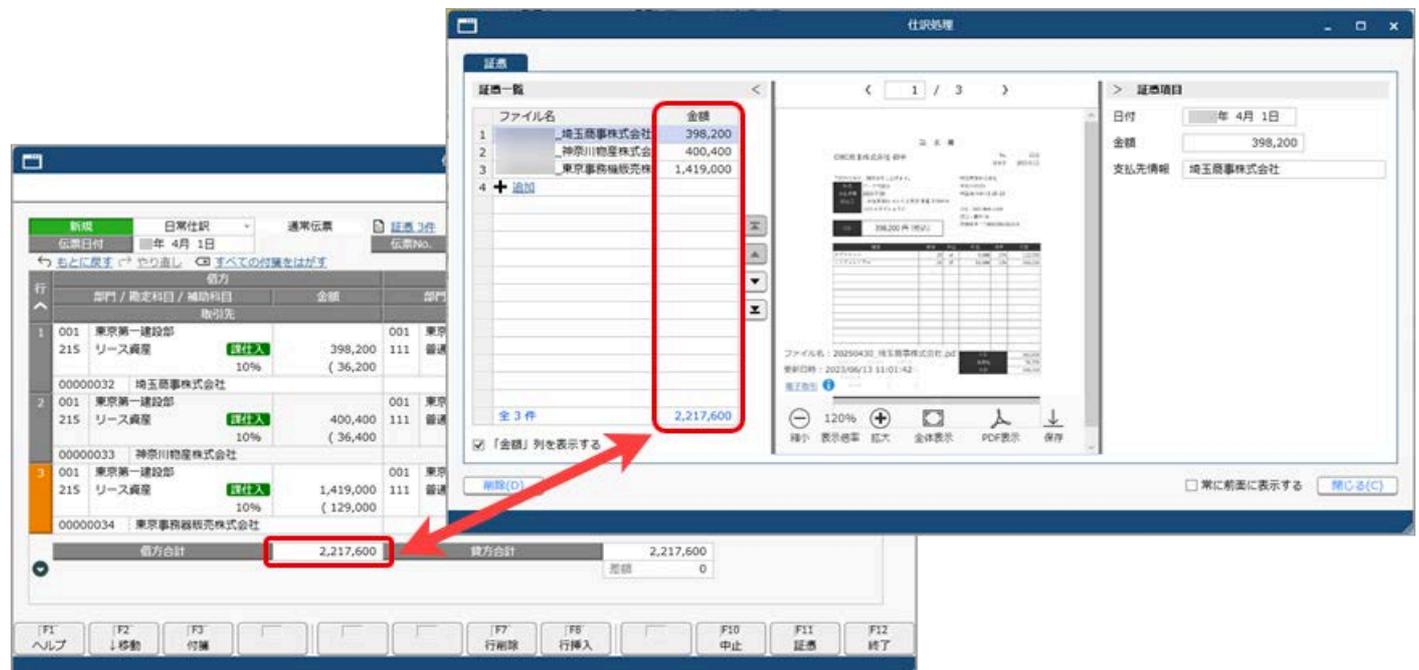
証憑

仕訳伝票の合計金額と、添付した証憑の合計金額を突合したい

証憑を参照したり、証憑項目を入力できる画面上に、証憑ごとの金額や合計金額が表示されるようになりました。

「金額」列を表示する」にチェックを付けると表示されます。

仕訳伝票の合計金額と証憑の合計金額を突合することで、証憑の添付漏れや金額の入力間違いを防げます。



The screenshot displays the '仕訳処理' (Transaction Processing) window. On the left, the '仕訳入力' (Transaction Entry) screen shows a table with columns for '行' (Line), '部門 / 勘定科目 / 補助科目' (Department / Account / Sub-account), '取引先' (Counterparty), '金額' (Amount), and '部門' (Department). The table contains three rows of transactions, with a total amount of 2,217,600. On the right, the '証憑' (Certificate) screen shows a list of certificates with columns for 'ファイル名' (File Name) and '金額' (Amount). The list contains three certificates with a total amount of 2,217,600. A red box highlights the total amount of 2,217,600 in both the transaction entry screen and the certificate list. A red arrow points from the certificate list to the transaction entry screen.

対応メニュー

その他

セキュリティ強化

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。